

地域における生活課題解決に向けた取り組みについて意見交換しました！

開催内容

※第1層：大崎市全域 第2層：地域自治組織単位

・第2層地域支援コーディネーターより、地域で取り組む生活支援活動について発表いただき、併せて地域の現状や課題を報告いただきました。それに対し、第1層協議体構成員及び地域包括支援センターより、ご意見やご助言をいただきました。

コーディネーターの発表内容(抜粋)

- ①地域の支え合い活動をしているが、高齢化により担い手が不足している。
- ②地域の集いの場に移動手段が無いため来られない人がいる。また男性の参加率が伸びずに悩んでいる。
- ③地域資源の一つである企業と連携した取り組みを考えたい。



第1層構成員・地域包括支援センターからの意見(抜粋)

- ①高齢化による担い手不足は、福祉分野に限らず全ての業界で共通する課題である。担い手を増やすことではなく、例えばDX化など、担い手が少なくなっていく中でどのように活動を継続させていくかに目を向けて議論していくべきである。
- ②移動の問題はご近所同士で車を乗り合わせるような関係性を築ける地域になることが理想である。男性は役割や目的を持たせると、張り切って参加するのではないか。
- ③企業サービスとして、見守りや居場所の提供など地域とさまざま連携できる部分があるので、まずはご相談いただきたい。